

# 介護老人保健施設つねずみ様

4～5日かかっていた煩雑なシフト作成業務からの解放を目指す

将来的には人材データの一元管理と活用にも期待



介護老人保健施設つねずみでは、シフトの作成業務の省力化を目的に2023年4月より『エピタク』の利用を開始しています。

本記事は本稼働を前にした2023年3月、マネージャーの須藤 幸盛様と職員の皆さまにエピタク導入の背景や活用への期待について伺った内容をまとめたものです。

(介護老人保健施設つねずみ 外観)

## エピタク導入の背景

### 貴施設についてご紹介ください

須藤様：当施設は1996年12月に水戸市の介護老人保健施設の第1号として開設されました。在宅復帰施設として、また保健施設としてショートステイ、ミドルステイ、長期入所と入所者一人ひとりの状況に合わせた利用が可能です。身体機能などの低下により在宅での生活が難しくなっている方には、理学療法士などセラピストによるリハビリテーションを提供し在宅復帰を目指し、在宅の生活が医療的ケアのために難しい方へは看護師による看護サービスを提供し安心できる生活を提供します。

### 導入の背景にはどのような課題があったのでしょうか

須藤様：職員数の増加と共に就業条件の幅も増えてきたことで、現場業務の合間でのシフト作成が煩雑となり、業務効率化（対入所者対応を最優先したい・時間外の圧縮）を考えていました。

この2年ほど経営強化していく中で、入居者数も職員数も大幅に増えました。施設運営には介護・看護・リハビリ・事務・栄養など多種多様なメンバーが必要です。雇用形態もまちまちで、夜勤専従の職員もおり、急激な職員増加の中でシフト作成業務が非常に煩雑になっていました。

作成手順は、紙に手書き（希望休・委員会などを記載）したものをExcelに入力し直して運用していました。時には8～9割完成したシフトに対して、急な変更希望を受け付けて調整するケースも少なくありません。結局、着手してから最終化するまで、4日～5日かかっていました。

水越様：本来の業務に当てるべき時間を奪われるのはもちろん、作成業務が属人化していることも問題です。何らかの事情で作成担当者が変わるたびに引き継ぎが必要になっていましたが、これも本来であれば時間をかけるべき業務ではありません。

## 導入に対する期待と不安

### エピタクを導入した経緯について教えてください

須藤様：課題が明確でしたので、シフト作成を省力化できるツールを色々探しました。ある程度情報を集めて比較検討をしましたが、どれも一長一短という感じでして。そんな時に、同業他社で実際にエピタクを導入している方からのお声かけがあったんです。まずはやってみようというのが正直なところですね。

### エピタクへの期待と不安について率直なお気持ちをお聞かせください

須藤様：期待しているのは、導入目的である業務効率化です。とにかくこの作業から解放されたいですね。ある程度の条件を登録すれば自動でシフトが作成されるイメージで運用までのせていきたいと考えています。ただし、シフト作成がどこまで柔軟に仕組みかできるかは不安でもあります。大変だとはいえ、毎日の体制が適切に維持されているのは、複雑な勤務形態や職種、職員の経験値による組み合わせのバランスを考慮して作られたシフトのおかげです。

いくら自動的に作成できると言っても、「この人は先月かなり業務の負荷が高くて大変だったので休みを入れてあげたい」という調整までは、システムのロジックでまかないきれないでしょう。個々の事情を配慮しながら人手でチューニングする場面はゼロにはならないのでは、と考えています。その負担をどこまで減らせるか、というチャレンジでもありますね。

それからもう一つ、懸念があるとすれば当施設内のインターネット環境でしょうか。今は事務のパソコンがある程度。本格的に職場で使っていくには整備が不十分です。ただ、今後に向けて環境整備にも着手しているので、徐々にみんなが利用しやすい状況を作っていきたいですね。

## 今後の展望

### 今後エピグノに期待されているのはどのようなことでしょうか

水越様：はい。先ほどお話ししたように、一足飛びにシフト作成を完全に自動化することは難しいかもしれませんが、ですから、まずはできるだけ汎用性の効くベースを作り、個々の調整を重ねていくことで既存の業務量を削減していく道筋を作る進め方が理想です。一つずつステップを進める際に、参考となりそうな他施設での好事例やノウハウなどのアドバイスをいただけたら嬉しいです。

また、まずはシフト作成にフォーカスしてはいるものの、エピタクの介護職種に特化した人材データの一元管理が可能な点には魅力を感じています。将来的には当院での活用も考えられるよう、状況に応じた支援を継続的にお願いしたいです。

(聞き手：株式会社エピグノ カスタマーサクセス  
都築 佳那恵 / 2023年3月取材)

取材にご協力いただいた皆様。左からマネージャーの須藤 幸盛様、看護課主任の鈴木 さち子様、理学療法士の相田 百恵様、管理栄養士の水越 紗也加様

